

外部検証委員会（人財育成分野）次第

日時 令和2年11月25日（水）午後5時30分から

場所 益子町役場休憩室

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 配布資料の確認
- 4 案件
 - (1) 概要説明（教育長）

 - (2) 施策ごとの検証（シート毎ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）

 - (3) その他
- 5 閉会

外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後10日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（人財分野）議事録

日時	令和2年11月25日(水) 17:35～18:40	
場所	役場 職員休憩室大	
出席者	委員	鮎沢委員、加藤委員、手塚委員、森田委員（欠席：）
	職員	岡教育長、富賀瀬健康福祉課長、石塚学校教育課長、永嶋生涯学習課長
	事務局	佐藤係長、出口
配布資料	次第、推進状況総括シート、推進シート	

発言者	発言要旨
教育長	<p>1. 開会</p> <p>2. 出席者紹介</p> <p>3. 配布資料確認</p> <p>4. 案件</p> <p>(1) 概要説明</p> <p>総括シートにより説明</p>
委員	<p>(2) 施策ごとの検証</p> <p>OP.46 施策1 勁い心をもつ人財の育成</p> <p>クロームブック（タブレット型PC）を子供たちに配布するということだが、基本的に学校内で使用するものか。</p>
石塚課長	<p>基本的には学校の授業で使用する。1人1台、小学校1年時に配布され、6年間使用する。ただし、緊急事態宣言が発令された場合などで、オンライン授業を実施しなければならない時は、家庭で使用することも想定している。</p>
委員	<p>七井中学校で実験的にオンライン授業を実施したようだが、その際は貸出しではなく自宅にある各自のパソコンなどを使ってもらったのか。</p>
石塚課長	<p>その通りで、基本的に機材は各自用意してもらった。各家庭で機材を用意できなかった生徒は七井中学校が2名、益子中学校は5名だった。クロームブックの導入に当たり、生徒1人1人に-googleアカウントを用意したので、そのアカウントでログインすれば、同じ画面や同じ設定がどこにいてもどの端末でも共有できる。例えば、学校で宿題を出されても、自宅の端末で作業をすることができる。また、要保護・準要保護の家庭で自宅のインターネット環境が整えられない場合については、移動式のルーターを準備し、貸出しができるよう検討している。学校とも今後相談し、オンライン授業を実施しなければならない状況になっても、すべての生徒が受講できるよう配慮していく予定である。</p>

委員	不登校の生徒について、どこまで介入していくかなど問題がたくさんあると思うが、実際不登校についての相談はどれくらい受けているのか。深刻な不登校の生徒については、ソーシャルワーカーが対応してくれると思うが、ちょっとした友達間のトラブルがあった際、担任の先生は近い存在であるが故に相談しづらいところがある。その一方で、部活動の先生は相談しやすいところがあるので、介入してもらってはどうか。
教育長	誰に一番相談できるかという点、ピアサポート＝友人に相談すると話をよく聞いてもらえるというのがあるようだ。ストレートに担任の先生というだけでなく、部活動の先生や好きな教科の先生など、生徒一人一人の思いもあると思うので、それぞれが役割をうまく担えるよう学校と連携し対応できるようにしていきたい。つばき教室では現在8名お世話になっているが、つばき教室に行けない、関われない生徒については、先生方が家庭訪問を実施するが、それも受入れが難しい家庭については、慎重に対応をしているというのが現状である。
委員	以前、人権擁護委員をやっていた時、SOS ミニレターに返事を書いていたが、色々な相談があった。まずは担任の先生に相談してみても、という回答が基本になってしまっていた。
委員	学校図書館について、司書を配置して大分整ってきたと思うが、現在の進み具合はどうか。
石塚課長	順番が前後した形となってしまっているが、順調に進んでいる。まず本を揃える前に、子供たちが本に興味を持つように図書室の飾りつけをした後、書棚の整理をしてもらった。昨年度から今年にかけては不要な本の廃棄をしてもらい、現在蔵書のデータ化を進めており、来年までかかる見込みである。そこまで終わってやっと電子化できるかなという状況である。
委員	予定では、いつまでにデータ管理をするのか。
石塚課長	来年度中にできればと考えている。
教育長	学校図書館教室推進委員会を組織し、各小学校の図書の課題を整理している。やはり廃棄処分は時間がかかるようで、特に統合した学校については、統合前の、しかも読まれていない本が多数あるため、難航しているところである。
委員	OP. 48 施策2 学びを通して社会に貢献できる人財の育成 マイチャレンジ体験活動について今年度はどのような状況か。
石塚課長	各学校で計画を立てて補助金の申請までしていたが、実施はされず全て取り下げに

	<p>なってしまった。</p>
委員	<p>それに代わることは何か行ったか。</p>
石塚課長	<p>活動としては何もできていないのが現状である。先生方が個別にそれぞれの授業に取り入れてやっていただいているようだ。しかし、イベントや活動が中止になってしまったことで、授業については最初2か月の遅れがあったが、10月の段階で通常の進み具合となり、若干進んでいる教科もあるくらい順調に進んでいる。</p>
委員	<p>マイ・チャレンジ体験活動はたった3日間であるが、子供たちが社会に出て、親でも教師でもない大人と接する大切な機会であるので、残念に思う。また、先生方の出張や研修が中止になったので、その分授業が進んだという話を各学校で伺ったが、先生方の質の向上を考える研修会が、子供たちの授業を進めていくための支障になっていたのかと思うと、研修の在り方も検討していかなければと思う。</p>
石塚課長	<p>外国語授業・プログラミング教育共に益子町は他市町に比べて先行していた。貯金があったので、今年は研修が中止になってもやっていった。しかし、来年度は実施していかなければと思っている。今回1人1台の端末を配備するが、本来は令和5年度にかけて整備を進めていく予定だった。1人1台の端末の研修については、今年は夏休みにできなかつたため、急遽本年末の平日に予定を組んで、研修を実施する予定である。</p>
教育長	<p>マイ・チャレンジ体験活動について、今年はキャリア教育研究推進で、七井中が2か年にわたる研究発表を11月13日に行った。七井中ではマイ・チャレンジ体験活動ができなかつた分様々な職業の方に来てもらって、人間関係づくりの視点から話をしてもらい、研究に取り組んだ。発表を聞いて、益子町としてはキャリア教育は効果があったと思われるので、これを活かして来年度の活動につなげていければと思っている。また、益子町は茂木町・市貝町・芳賀町の4つの町で教育研究協議会を組織しており、町単独でやっている外国語授業やプログラミング教育研修に、他の3町が参加させてほしいということで合同で実施してきた。ほとんどの先生がその機会に触れることが多くなったので、理解だけでなく自分からやってみようという意識の向上につながっている。1月に導入予定の1人1台端末に向けて、年末年始に研修を受けていただくことで自信をもって教えられるよう努めていきたい。夏休みの研修がなくなり、2学期に入って少しずつ状況が戻ってきたが、それでも学ぶ機会は少なくなってきた。ただ先生方は学校で子供たちとの時間が十分に確保できたということで、予想以上に授業を進めることができたと聞いている。</p>
委員	<p>OP.50 施策3 たくましく生きるための人財の育成 益子町子ども体力向上プログラム作成委員会が開催されたようだが、構成員にはどういった方がいらっしゃるのか。</p>

石塚課長	全て学校の先生である。各学校から代表で出てもらって検討している。
委員	各学校が希望する運動用具を全て納品されたということだが、具体的にどのような用具があるのか。
石塚課長	近年は同じような傾向であるが、小さいボールから大きいボールまで、基本的に投げるということに重点を置いたものである。おかげで投力は良くなってきている。元々益子町の児童生徒は瞬発力と持久力は抜群だが、柔軟性が課題なので、今後はその辺をプログラムで検討してもらいたいと考えている。
委員	中学校が動画を配信したが、体育で体力向上プログラムで作ったものと組み合わせた内容を動画で作成したようだ。紙よりも、動画の方がとても分かりやすいので、今後も続けていただきたい。
教育長	益子町の体力向上プログラムの特徴としては、文字はほとんどなく全て写真で掲載されている。今後タブレット端末の導入もあるので、ご指摘の通り動画は利用しやすくなる。第2回体力向上プログラム作成委員会の開催前に委員長に確認させていただきたい。
	OP.52 施策4 人材が育つ環境づくり
委員	町民大学について、新ましこ未来計画では第何期から始まり、今年度は何期目になるのか。
永嶋課長	第5期から始まり、今年度は第8期になる。第5期から第7期が一般の方が対象で、第8期からは高校生が対象となっている。12月にアクションプランとって今まで学んだことを基に町のために何ができるかを発表する機会が設けられているので、現在発表に向けて計画作りをしているところである。
委員	高校生を対象としたのは、一般の参加者がなかなか集まらなかったからか。
永嶋課長	一般の方から町民学士は輩出されているので、若手に着目し、若者の育成にシフトしたところである。新ましこ未来計画上、町民大学は今年度で終了するが、高校との連携は引き続き継続していく予定である。
委員	現計画で町民大学は第8期までで終了ということだが、新しい計画ではどうか。
永嶋課長	新しい計画には町民大学という形では載せていないが、引き続き高校と連携を図り、生徒たちに地域と関わりをもってもらおう活動を進めていく予定である。
委員	子どもたちの考えはユニークなものもあっていいと思う。自分も第6期で参加した

	<p>が、大人は現実的な部分しか見えておらず、ユニークな発想がない。たとえ実現しなくても、新しい視点・新しい発見ができるのは面白い。また、18歳で選挙権を得るので、身近な地域課題に取り組むことはいい機会だと思う。</p>
永嶋課長	<p>今年度第1回目の講座で益子町の歴史等の町長講話、町の財政についての話を聞いてもらった。その後生徒たちにアンケートを取ったが、自分たちにも益子町のためにできることがあるかもしれないという意識を持ってくれる子も何名かいて、とても心強かった。</p>
委員	<p>基本的に町民大学の参加者は希望者か。</p>
永嶋課長	<p>2年1組の生徒を中心に行っており、講座によっては2年生全員が受講することもある。</p>
委員	<p>中学3年生の国語の単元で、グループで考えて提案しようというカリキュラムがある。学校によってだが、自分たちが住む地域の良い所をみんなにアピールしようということはやっているの、町民大学で培うものが身近なものになってくれるといいなと思う。</p>
教育長	<p>2022年に高校の学習指導要領が変わる時に、普通科再編の動きが国から示されている。進学重視なのか就職重視なのか、あるいは、SDGsに対応するような学科や、地域課題を解決するような学科はどうかなど、学校側がどういう生徒を求めているのか目的が明確に分かるよう国から問いただされている。益子芳星高校は福祉、奉仕、ボランティアに積極的に参加できる生徒を求めている。できるだけ子供たち自身が地域課題解決のために何ができるかを考え、意見を取り入れる精神を持つことを大切にしたいという方針があるので、町民大学は終了してしまうが、別の形で引き続き地域課題解決のために町と連携して継続していく方向で検討している。</p>
委員	<p>子どもが中学生の時に、益子のことを知るといふ授業の内容で、パワーポイントを使って授業参観の時に発表したことがあった。親が知らないこともたくさんあり、とても感心したのを覚えている。社会の勉強として、小学生は町探検があり、中学生はマイ・チャレンジがあるが、高校生はそういった社会勉強がない。一人でも多く様々な経験をさせてあげたいと思うので、高校との連携についてはぜひお願いしたい。</p>
委員	<p>ギガスクール推進事業について、維持管理はすべて町で行うのか。</p>
石塚課長	<p>維持管理については国、県からの支援はなく町で行う。そのため、機材は日本製のものを発注し、先生の管理の下で使用する分には壊れにくいと想定されるので、保守は入れない予定である。</p>

(3) その他

外部検証・意見シートは10日程度を目安にご提出を願いたい。

5. 閉会